

省エネルギー計画

新時代の病院。 エコ・ホスピタルとしての工夫。

熱負担の軽減

●ダブルスキンカーテンウォールの採用

低層部西側壁面には、ダブルスキンサッシを使っています。夏季はガラス間にたまる熱気を逃がし、冬季は暖気の有効利用を行います。

●複層ガラスサッシの採用

病室窓には複層ガラスを採用しており、熱負荷軽減を図っています。

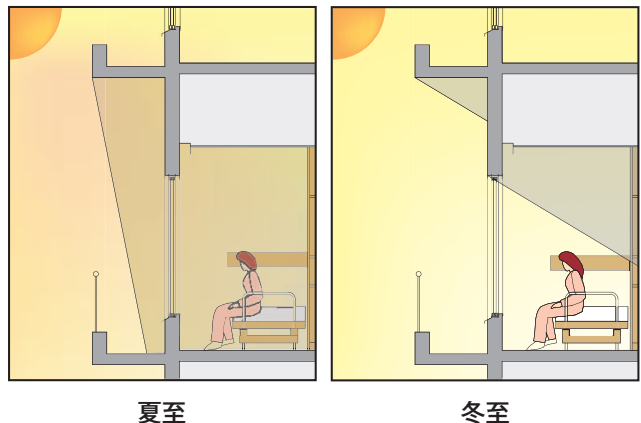
●バルコニーによる日射の制御

病棟部バルコニーにより、夏季は室内への日射を遮蔽し、冬季は日射を有効に室内まで取り込むようにしています。

●緑化による断熱効果

屋上緑化、壁面緑化により、熱負荷の低減や照り返しを抑制しています。

■バルコニーによる熱負荷の軽減



自然エネルギーの有効活用

●自然光を有効活用した照明制御

ペリメーターゾーン(窓際部分)の照明制御により、外光を有効利用しています(外が明るくなれば、窓際照明は暗くなります)。

●太陽光発電の採用

太陽光発電を導入しています。

●自然光の屋内への導入

太陽光集光装置の導入により、エントランスの風除室へ自然光の誘導を行っています。

●雨水・井戸水の有効利用

雨水、井戸水を貯留し、屋上緑化の植栽への散水に有効利用しています。

■太陽光集光装置



屋上庭園に設置

エネルギー管理による省エネ効果

●クラウドを利用したビルエネルギー管理システムの導入

熱源機器、空調機器などのエネルギー機器の運転や使用状況の監視・管理には、信頼性の高い通信事業者の外部サーバー(クラウド)を利用したネットワークシステムを構築しました。総合的で信頼性の高いビルエネルギー管理システムにより、効率的な機器の運転による省エネルギーを実現しています。

●ランニングコストの低減

低電力、長寿命のLED照明を全面的に採用することで、照明における電気使用量の30%削減となっているほか、ランプ交換が不要となりランニングコストを低減します。

■設備運営のPDCAでエネルギー利用の最適化

